



トップスニュース

Vol.90

2016年9月25日

加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



広島東洋カープ

カープ悲願達成 25年ぶりセ界の頂点



カープが10日、25年ぶり7度目のセ・リーグ優勝を決めた。マジックナンバー1として東京ドームで2位の巨人戦に臨み、今季得意の逆転劇を演じ6-4で勝った。優勝は1991年以来、12球団で最も優勝から遠ざかっていた。

今シーズンのカープの強さは圧倒的だった。6月5日に首位に立って以来、14日からは32年ぶりの11連勝を記録、独走体制とし8月24日にマジック20が点灯、翌25日から優勝を決めるまで12勝2敗という驚異的な強さを見せつけるなど、一気に頂点まで駆け上がった。

投手陣では日米通算200勝を達成した黒田博樹を筆頭に、先発ではジョンソン、野村祐輔、中継ぎでは今村猛、ヘーゲンズ、ジャクソン、中崎翔太らが獅子奮迅の働きを見せた。

野手陣では同級生トリオ「タナキマル」の田中広輔、菊池涼介、丸佳浩が走攻守でチームを牽引し、「神ってる」男の鈴木誠也や地元・広島出身で2000安打を達成した新井貴浩が打点を量産した。下位打線でも安部友裕、石原慶幸がいい味を出し、他にも松山竜平、下水流昂、天谷宗一郎らが大事なところでチームを勝利に導いた。

次の目標である32年ぶりの日本一へ、まずはクライマックスシリーズ・ファイナルでの戦いが注目される。

第71回希望郷いわて国体 中国ブロック大会

第71回希望郷いわて国体2016中国ブロック大会にトップス広島加盟の6チームが参加し5チームが1位通過で国体出場権を獲得し、広島ガスバドミントン部は惜しくも3位で出場権を逃した。

★バレーボール JTサンダーズ
決勝で岡山に3-0で勝利

★ハンドボール 湧永製薬
決勝で山口に35-23で勝利

★ハンドボール 広島メイプルレッズ
4県総当たりを制した
岡山と1、2位決定戦
28-12で勝利

★ソフトテニス NTT西日本広島
5県総当たりリーグ戦で全勝

★ホッケー コカ・コーラウエスト
決勝で島根に4-0で勝利

★バドミントン 広島ガス
5県リーグ戦で3位
(2位内の本大会逃す)



NTT西日本 ルーキー船水組V 全日本社会人選手権

3、4日に茨城県神栖市で第44回全日本社会人ソフトテニス選手権大会が開催された。社会人ナンバーワンを決める個人ダブルス戦で、全国から294ペア、NTT西日本広島からは5ペアがエントリーした。

西日本選手権を優勝し今大会も優勝候補の水澤雄太・長江光一ペアは徹底マークされ、ベスト32でまさかの敗退。岩崎圭ペアも同じベスト32で敗れた。しかしルーキートリオ（船水雄太、林大喜、丸中大明）が躍動。ベスト8にそろって進出。丸中・原侑輝ペアは原の捻挫で無念の逆転負けしたが、船水ペアと村上雄人・林ペアはともに決勝進出。同士討ちとなった決勝はルーキー同士火花の散りあいとなったが、林が足をつるアクシデントに見舞われ、これを境に流れを引き寄せた船水ペアが終始攻撃の手を緩めず、うれしい社会人初タイトルをつかんだ。



全日本社会人選手権初優勝した船水（左）

メイプルレッズ準優勝

全日本社会人選手権 湧永製薬は8位

8月31日から4日まで山形県東根市民体育館で高松宮杯第6回全日本社会人選手権大会が開かれ、男子の湧永製薬は2007年以来、女子の広島メイプルレッズは2012年以来の優勝を狙ったが、いずれも届かなかった。メイプルレッズは予選トーナメントを勝ち上がり、決勝リーグに進出。1勝1分1敗で準優勝した。一方の湧永製薬は予選トーナメント1回戦は快勝したが2回戦で敗れ、順位決定戦でも連敗し、過去最低の8位に終わった。なお、ベストセブンにメイプルレッズの笠木未希、角屋里帆が選出された。

ホッケー女子日本リーグ

コカ・コーラ 1位かけソニーと直接対決

高円宮杯2016ホッケー女子日本リーグは、リオオリンピック出場のため中断していたが、3日に再開。コカ・コーラウエストは再開初戦の南都銀行との試合に臨み、第2クウォーターに先制点を許すものの、最終第4クウォーターに浅井悠由の豪快なヒットシュートが決まり同点に追いついた。その後は拮抗した展開が続き、結局1-1で引き分けた。

続く東海学院大、グラクソ・スミスクライン、立命館大に快勝、3連勝して7勝1分。得失点差でソニーHCに次ぎ2位につけている。

残りは1試合。岩手国体後の10月15日に前年覇者ソニーと1位をかけ直接対決する。その後、4強による順位決定戦で2年ぶりの女王の座へチャレンジする。

JT、リーグ奪回へ恒例の北海道強化合宿

8月30日から9日間、北海道芦別市にて毎年恒例の強化合宿を行った。加入後、初めてフル参加したウイングスパイカーとしてチームを引っ張る越川優は「食事もおいしく、地元の方々も温かい、良い環境で練習が出来る。オフシーズンは身体調整を綿密に行い、リーグに向けて備えてきた。この合宿からチームのために頑張りたい」と語った。

今シーズンから主将を務める司令塔セッターの深津旭弘は「今年5月の黒鷲旗で優勝でき、チーム力はどこにも劣っていない。全員で勝ちにこだわっていくチームになるよう主将として力を発揮したい。」とリーグ奪回に向けて抱負を述べた。

ブコヴィッチ監督は「就任4年目、過去、私はJTを勝てるチームへと変革してきた。今シーズンはその集大成。ともに優勝の喜びを分かち合えるよう、精いっぱい指揮していく」と3冠（プレミアリーグ、天皇杯、黒鷲旗）に向けて意欲を表した。



芦別市長(前列左から3人目)との記念撮影



歓迎セレモニーで花束を受ける監督ら



サンフレ、ルヴァン杯4強ならず

サンフレッチェ広島は2016JリーグYBCルヴァン・カップ（ヤマザキナビスコ・カップを決勝トーナメントから名称変更）のホーム・アンド・アウェー方式で争う準々決勝から出場、昨年準優勝のガンバ大阪と対戦、1分け1敗で準決勝進出はならなかった。

ホームでの第1戦（8月31日）は柴崎晃生のゴールで先制したが、後半終了間際に追いつかれて引き分けた。第2戦（9月4日）は後半7分、1-2の状況で森崎浩司が直接FKを決め、昨年3月のリーグ戦以来となるゴールで2-2に追いついた。しかし、3分後に勝ち越し点を許すと、その後立て続けに3失点。後半34分に皆川佑介が1点返すも今季最多失点で3-6の大敗。2試合合計4-7で敗れた。



中国電力
陸上競技部
中国電力陸上競技部

中電新人カマイシ 5000円で4位 全日本実業団対抗陸上

ヤンマースタジアム長居で23日から3日間行われた第64回全日本実業団対抗陸上選手権大会に中国電力から10000円に米澤類、藤川拓也、渡邊心、5000円に岡本直己、北魁道、ポール・カマイシが出場した。7月から3カ月続いた夏期強化合宿終了後、最初の大きな大会。合宿の成果を出し、今後の駅伝シーズンに向けて勢いつけたいレースだった。

良い走りを見せたのは、5000円（タイムレース）の新人のカマイシ。

2組は序盤からペース変化が激しくなり、過酷な展開になったレース。最後はNTNのムワンギに離されたが13分31秒31で4位に食い込んだ。今後の力走が楽しみな走りだった。



好調な走りを見せたポール・カマイシ

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



レッドスパークス
浅井 悠由選手

生年月日 1996年1月8日
身長 172cm
血液型 B型
出身地 大阪府
↓担当者からのコメント

入部3年目、チームの最年少。長身を活かしたフットワークと強打が持ち味で、成長著しい期待の星。現在、ジュニア日本代表チームの要として活躍中



広ガス 3人が16強入り 全日本社会人混合複

2日から7日まで愛知県一宮市総合体育館で第59回全日本社会人バドミントン選手権大会が開催された。

広島ガスからはシングルス、ダブルス、混合ダブルスに6人が出場。混合ダブルスで、桜井みどりペア、小池温子ペア、亀田楓ペアがベスト16入りを果たし、全日本総合選手権大会（12月29日から6日間・東京代々木第2体育館）予選への出場権を獲得した。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

編集協力 広島経済大学 興動館
スポーツによる地域活性化プロジェクト